



あつま

9月定例会号

No. 176

令和元年11月発行

議会だより



『ありがとう』

(上厚真小120周年記念全校合唱)

第3回定例会、第5・6・7回臨時会	2～6
委員会活動レポート	
総務文教常任委員会	7
産業建設常任委員会	8～9
北海道胆振東部地震復興特別委員会	10
一般質問「ここが聞きたい」伊藤富志夫、橋本豊、高田芳和、下司義之4氏が問う	11～14
研修会レポート(広報委員会研修)・財政診断	15
国に物申す(意見書)	16
議決案件(賛否状況)	17
議会のうごき、文化活動団体紹介(カラオケ穂波会)	18

教育委員会委員の任命に同意した

9月定例会



池川 徹 氏

教育委員とは

教育委員会の組織は、教育長と4人の教育委員及び事務局から構成されています。

教育委員は、首長が議会の同意を得て任命し、任期は4年となっています。

非常勤で月1回の定例会のほか、臨時会などで教育行政の重要事項や基本方針などを合議制で決定します。

選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行い選任した



高田雅晴 氏

(H23. 10. 28 ~ R 1. 10. 27)
R 1. 10. 28 ~ R 5. 10. 27



畑嶋賢蔵 氏

(H23. 10. 28 ~ H30. 11. 30)
H30. 12. 1 ~ R 5. 10. 27



安田久美子 氏

(H19. 10. 28 ~ H30. 3. 27)
H30. 3. 28 ~ R 5. 10. 27



大浦真則 氏

(H11. 10. 28 ~ H19. 10. 27)
H19. 10. 28 ~ R 5. 10. 27

選挙管理委員会委員

※ () は補充員期間



桐木洋光 氏

(R1. 10. 28 ~ R5. 10. 27)



山本隆司 氏

(R1. 10. 28 ~ R5. 10. 27)



秋永晴美 氏

(R1. 10. 28 ~ R5. 10. 27)



矢部 励 氏

(H27. 10. 28 ~ R5. 10. 27)

同補充員

行政報告

○胆振東部地震に係る災害復旧事業等の実施状況について

町所管の河川、道路、橋梁等の災害復旧工事は155カ所の109カ所で工事着工し、事業完了は令和2年度を予定。被災農業者向けの経営体育成支援事業は、事業申請183戸909件あり8月末で426件が完了。

被災家屋の公費解体は189件で106件が解体完了。災害公営住宅整備については、32戸の建設を予定し、12月の工事発注に向けて実施設計を行い、来年10月完成を予定。

被災から1日も早い復旧をめざす。

○農作物の生育状況について

降水量は平年に比べ少なく、気温は概ね高温傾向、作業は順調で、農作物の生育は概ね順調。

9月定例会

第3回定例会が9月17日から18日までの日程で開催され、一般質問は4人、議案16件、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙1件、教育委員会委員の任命1件、決算に基づく健全化判断比率等の報告7件、意見書2件等が付議された。また、会期中に決算特別委員会を設置し、平成30年度一般会計等の歳入歳出などの決算審査を付託した。

付議された主なもの

議案第3号
厚真町税条例等の一部改正

改正の趣旨

令和元年10月1日から創設される軽自動車税の環境性能割や単身児童扶養者の非課税措置に伴う規定の整備、大法人の電子義務化、たばこ税率引き上げと緩和措置に係る規定整備に関する所要の改正

改正の内容
(軽自動車) 軽自動車税の環境性能割について令和2年9月30日まで税率を1%軽減する、ほか。

(単身児童扶養者) 未婚単身者で児童扶養手当の支給を受けている者で所得135万円以下の者は非課税、ほか。

(大法人) 資本金、出資金が1億円以上の法人等は令和2年4月1日以後電子申告の義務化

(たばこ税) 令和2年10月1日から千本5692円を6122円に、令和3年10月1日から6552円に引き上げる。

議案第4号
厚真町こども園の設置及び特定教育・保育の実施に関する条例の一部改正

改正の趣旨

令和元年10月からの幼児教育・保育無償化に伴うもの、及び一時預かり保育の利用料の改定について所要の改正

改正の内容
無償化に伴い不要となる規定の削除と一時預かり保育の利用料の改正
・8時半～11時半
3歳未満500円

議案第7号
厚真町交流促進センター条例の一部改正

改正の趣旨

令和元年10月1日からの消費税率改変に伴い利用料の改定について所要の改正

改正の内容
日帰り入浴料金(大人) 現行520円を530円にする、宿泊料金一泊大人洋室6500円を6700円にする、ほか。

3歳以上4000円
11時半～16時半
3歳未満150円/時
3歳以上1200円/時

議案第9号
平成30年災第293号町道鹿沼旧停車場線ほか災害復旧工事請負契約の締結

契約の目的

平成30年災第293号町道鹿沼旧停車場線ほか災害復旧工事
契約の方法

指名競争入札
契約金額
5566万円
契約の相手方
木本・中山復旧・復興建設工事共同企業体

議案第10号
平成30年災第349号準用河川チケツペ川ほか災害復旧工事請負契約の締結

契約の目的

平成30年災第349号準用河川チケツペ川ほか災害復旧工事
契約の方法
指名競争入札
契約金額
2億1142万円
契約の相手方
岩倉・北辰・曾我特定建設工事共同企業体

議案第11号
平成30年災第680号町道幌里開拓2号線ほか災害復旧工事請負契約の締結

契約の目的

平成30年災第680号町道幌里開拓2号線ほか災害復旧工事請負契約の締結

平成30年災第680号町道幌里開拓2号線ほか災害復旧工事
契約の方法
指名競争入札
契約金額
1億8810万円
契約の相手方
山岡・協栄復旧・復興建設工事共同企業体

議案第12号
上厚真地区情報通信基盤施設整備工事請負契約の締結

契約の目的

上厚真地区情報通信基盤施設整備工事
契約の方法
随意契約
契約金額
1億4300万円
契約の相手方
東日本電信電話株式会社

令和元年度厚真町一般会計補正予算（第6号）

議案第13号

※補正予算、繰越明許費とも万円以下切り捨てて記載。

定住化促進対策事業

補正額 9000万円
事業総額 1億5120万円
総合戦略G

従来の「持ち家住宅建築促進支援助成金」制度を拡充し、北海道胆振東部地震の被災者等が町内各地で新たな住宅を建設するために要する費用の一部を助成する。

変更内容：対象地域を、従来の分譲地から町内全域へ

対象物件：平成30年9月6日以降の建設住宅
助成金額：定額120万円

財源内訳

町の財源 3400万円
その他財源（ふるさと応援基金） 5600万円

住宅復旧支援事業（胆振東部地震）

補正額 8500万円
総予算額 4億800万円
建築住宅G

北海道胆振東部地震により被災した住宅の早期復旧に資するため、建物の傾斜復旧工事とそれに併せて実施する建屋下の地盤改良工事に要する費用の一部を助成する。

交付対象者：地震発生時の住宅所有者、管理者、占有者

対象建物：住宅、アパート・マンション、店舗併用住宅

補助対象：工事費から50万円を控除した額の1/2
補助金上限額：200万円から300万円に変更

財源内訳

町の財源 8500万円

新生児誕生記念品事業

補正額 164万円
子育て支援G

地震から1年、震災後に誕生した「新しい命」のスタートを地域が支え、未来につなげていくことを目的とした地域コミュニティ再生を担う事業。

事業内容：旭川大学が始めた「君の椅子」プロジェクトに参加し、1人一脚の椅子を提供する。

「君の椅子」概要：子どもの名前、ロゴ、一連番号と世界に一つだけの椅子

対象幼児：平成30年9月6日から令和元年9月6日までに出生した乳幼児また厚真町に転入した乳幼児

財源内訳

その他財源（ふるさと応援基金） 164万円

漁業施設災害復旧事業（胆振東部地震）

補正額 4000万円
経済G

北海道胆振東部地震で被災し損害を受けた浜厚真漁港の早期復旧を図るため、工事費用の一部を補助するとともに、補助残に充てるための資金を無利子で貸し付ける事を目的とする事業。

損害の概要：重油給油施設が損傷し、残重油が漏洩し周辺の土砂が汚染され、汚染土砂の入れ替え工事をする。

補助金：事業費の3/4以内

補助上限額：3000万円

貸付金：事業費の3/4以内、上限1000万円
無利子

償還期間：貸し付けた翌年から5年以内

財源内訳

町の財源 4000万円

厚真町生活再建支援商品券事業（町プレ）

補正額 2640万円
経済G

震災からの生活再建支援と地域経済の活性化を図るために、プレミアム付商品券を販売する。

商品券の概要：プレミアム率25%、あつまるカードへのチャージ可、国プレ対象者は、原則国プレ優先

購入期間：11/20～来年2/28

限度、期間：一口10000円、一世帯20口まで

有効期間：来年3/31まで

財源内訳

町の財源 2640万円

厚真町プレミアム付商品券事業（国プレ）

補正額 600万円
経済G

消費税10%への引き上げによって低所得者（住民税非課税者）・子育て世帯（3歳6か月未満の子が属する世帯）の消費の影響を緩和するとともに、地域消費の下支えを目的として販売する。

購入期間：10/1～来年2/28

商品券概要：プレミアム率25%、一口4000円で5口まで

有効期間：来年3/31まで

財源内訳

国支出金 600万円

地域公共交通対策事業

補正額 140万円
企画調整G

JR 北海道が単独で維持困難な線区において、北海道交通政策総合指針に基づいて設備投資に要する経費の一部に対し、北海道と維持困難線区沿線自治体等が緊急かつ臨時的支援として交付金を交付する。

交付金額：北海道1億4000万円、市町村6000万円（苫小牧市185万円、むかわ町110万円）

財源内訳
町の財源 140万円

特定森林再生事業

補正額 360万円
林業G

北海道胆振東部地震により被災した林地を整備するために必要な作業道を設置することを目的とする事業。

事業概要：地拵、植付、下刈、除伐が計画されている主伐の予定がある林地において施業を行うために作業道を設置する。

設置場所・距離：桜丘・2km

財源内訳
道支出金 324万円
その他財源(森林環境贈与税基金繰入金) 36万円

臨時会第5・6・7回

第5回臨時会が7月2日に開催され、議案12件、第6回臨時会が7月19日に開催され、議案2件、第7回臨時会が8月1日に開催され議案7件が付議されました。

付議された主なもの

7月2日 第5回臨時会

議案第1号
平成30年北海道胆振東部地震による被害者に対する国民健康保険料の減免に関する条例の一部改正

改正の理由
地震の被害者に対し国民健康保険料の減免の期間を延長し、負担の軽減を図ろうとするもの。
改正の内容
平成30年度末を令和元年8月31日までの納期に係る分と変更する。

議案第2号
平成30年北海道胆振東部地震による被害者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部改正

改正の理由
地震の被害者に対し介護保険料の減免の期間を延長し、負担の軽減を図ろうとするもの。
改正の内容
平成30年度末を令和元年8月31日までの納期に係る分と変更する。

議案第3号
財産の取得

財産の名称
予防接種管理システム機器
財産の内容
メインサーバー
PC タブレット M V
N O ルーターファイアウォール
取得の方法
随意契約
取得金額
1395万3600円
取得の相手方
北海道市町村備荒資金組合(組合長 菊谷秀吉)

議案第4号
厚真地区簡易水道施設災害復旧工事(機械・電気)請負契約の締結

契約の目的
厚真地区簡易水道施設災害復旧工事(機械・電気)
契約の方法
指名競争入札
契約金額
1億153万円
契約の相手方
新栄・厚信特定建設工事共同企業体

議案第5号
厚真地区簡易水道施設災害復旧工事(土木・建築)請負契約の締結

契約の目的
厚真地区簡易水道施設災害復旧工事(土木・建築)
契約の方法
指名競争入札
契約金額
3億2120万円
契約の相手方
岩倉・丸斗・森田特定建設工事共同企業体

議案第6号
平成30年災第376号町
道豊丘宇隆線ほか災害復旧
工事請負契約の締結

契約の目的
平成30年災第376号
町道豊丘宇隆線ほか災害
復旧工事
契約の方法
指名競争入札
契約金額
7018万円
契約の相手方
木本・中山・厚信復旧・
復興建設工事共同企業体

議案第7号
宅地堆積土砂除去工事
(2工区) 請負契約の締結
契約の目的
宅地堆積土砂除去工事
(2工区)
契約の方法
指名競争入札
契約金額
1億2980万円
契約の相手方
北辰・明成復旧・復興
建設工事共同企業体

議案第8号
宅地堆積土砂除去工事
(3工区) 請負契約の締結

契約の目的
宅地堆積土砂除去工事
(3工区)
契約の方法
指名競争入札
契約金額
6545万円
契約の相手方
山岡・北紘復旧・復興
建設工事共同企業体

議案第9号
上厚真小学校プール建設
工事請負契約の締結

契約の目的
上厚真小学校プール建
設工事
契約の方法
指名競争入札
契約金額
1億670万円
契約の相手方
丸彦渡辺・木本経常建
設共同企業体

議案第10号
令和元年度厚真町一般会
計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に
歳入歳出それぞれ1億3
411万円を追加し、総
額を142億9283万
円とした。主な事業は、
町有地管理事業、農業施
設等災害復旧事業である。

7月19日

第6回臨時会

議案第1号
令和元年度厚真町一般会
計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額に
歳入歳出それぞれ650
万円を追加し、総額を1
42億9934万円とし
た。主な事業は、幼児教
育・保育無償化事業、災
害弔慰金支給事業である。

8月1日

第7回臨時会

議案第1号
平成30年災第541号町
道幌里開拓線ほか災害復旧
工事請負契約の締結

契約の目的
平成30年災第541号
町道幌里開拓線ほか災害
復旧工事
契約の方法
指名競争入札
契約金額
7018万円
契約の相手方
森田・さくら佐藤復旧・
復興建設工事共同企業体

議案第2号
平成30年災第640号町
道桜丘幌里線ほか災害復旧
工事請負契約の締結

契約の目的
平成30年災第640号
町道桜丘幌里線ほか災害
復旧工事
契約の方法
指名競争入札
契約金額
2億1340万円
契約の相手方
丸博野沢・盛興・金谷
特定建設工事共同企業体

議案第3号
平成30年災第642号町
道幌里本線ほか災害復旧工
事請負契約の締結

契約の目的
平成30年災第642号
町道幌里本線ほか災害復
旧工事
契約の方法
指名競争入札
契約金額
2億460万円
契約の相手方
丸斗・北海土建・沼田
特定建設工事共同企業体

議案第4号
平成30年災第643号町
道幌里本線災害復旧工事請
負契約の締結

契約の目的
平成30年災第643号
町道幌里本線災害復旧工
事
契約の方法
指名競争入札
契約金額
1億6566万円
契約の相手方
木本・中山復旧・復興
建設工事共同企業体

議案第5号
平成30年災第644号町
道本郷桜丘線ほか災害復旧
工事請負契約の締結

契約の目的
平成30年災第644号
町道本郷桜丘線ほか災害
復旧工事
契約の方法
指名競争入札
契約金額
1億5922万円
契約の相手方
山岡・協栄復旧・復興
建設工事共同企業体

議案第6号
平成30年災第679号町
道幌里開拓本線ほか災害復
旧工事請負契約の締結

契約の目的
平成30年災第679号
町道幌里開拓本線ほか災
害復旧工事
契約の方法
指名競争入札
契約金額
8085万円
契約の相手方
北辰・明成復旧・復興
建設工事共同企業体

委員会 レポート

総務文教常任委員会

委員会は、7月23日に事務調査（3件）および現地調査（2件）を行い、その結果を第3回定例会に報告しました。



厚真中央小防犯カメラ

防犯カメラの 運用状況について

設置場所・台数	台数
厚真中央小学校	4台
上厚真小学校	3台
こども園つみき	3台
宮の森こども園	3台
役場上厚真支所	4台
厚真放課後子どもセンター	2台
上厚真シェアサテライトオフィス	1台
共同仮設店舗	4台

全カメラ24時間連続録画、モニター管理は施設管理者等が管理している。問 死角の問題が指摘されているが、今後の対応は。

答 死角の問題点を洗い出し、今後の児童生徒の学校生活の安全確保に取り組んでいく。問 モニターに最大4台分映るので、カメラ3台の所に増設が必要でないか。

答 必要であるとなれば検討していく。問 どのような形で機種を選定したのか。

答 工事費の中で設置したカメラと新たに予算取って設置したカメラもあり、多少機種にバラつきがある。問 設置した効果は。答 抑止力に繋がっている。

北海道厚真福祉 会の社会福祉施設 の移転改築（建設） について

胆振東部地震により社会福祉法人北海道厚真福祉会が運営する特別養護老人ホーム豊厚園と厚真リハビリセンターが被災し、入居者110名と職員66名を14施設・6病院へ避難した。現在、応急仮設福祉住宅に108名が入居している。

問 メーンの道路は小学校側か。堤防路ではすれ違いが危ないと住民から聞いている。

答 メーン通りは小学校側の道路から入ることにする。

問 北海道厚真福祉会からの要望に対して、町としてのスタンスは。

答 財政的な見通しをしつつあり立て、対応できる範囲内で支援していきたい。



被災した北海道厚真福祉会

問 今ある建物は今後どうなるのか。答 公費解体の対象として町が事業主体で実施する予定である。

子ども・子育て支援 法について（保育無 償化）

無償化の対象 令和元年10月から認定こども園などを利用する3歳から5歳の全ての子どもへの保育料と、住民税非課税世帯の0歳から2歳までの子どもの保育料。無償化の対象とならないもの

保護者の実費負担分（給食費・教材費など）と延長保育料。

問 3歳から5歳までの住民登録上の人数と、今入所されていない方が入所希望した時の対応は全て可能か。

答 3歳から5歳までの人数は106名で、町内での収容数は104名で、2名が保護者の勤めの関係で他町の保育園を選択しており、100%でございませぬ。

問 負担が多くなる人がいないか。

答 高くなることはございませぬ。

問 少子化の影響で社会資源の整っている市でも優遇策を打ち出してきている。国・道の基準で他の町と競争していけるのか。

答 今後十分検討して厚真町らしい厚真の魅力ある対策を講じていきたいと考えている。

委員会 レポート

産業建設常任委員会

委員会は、7月24日に事務調査（5件）および現地調査（3件）を行い、その結果を第3回定例会に報告しました。



損傷を受けた橋脚

**ハビウ川山岸
義幸地先農道橋
の状況について**

問 町内で同様な損傷を受けた橋に対する支援策はどのようなものか。
答 災害復旧の対象になった橋は5つあった。これについては国及び道、または起債事業に該当し

ないということ、額によって90、80、70%の補助率としていたが、今回は一律70%で対応している。その後の関連事業も70%にし差がないように対応したいと考えている。

	現在 在籍者数	合計 在籍者数	修了者	定住者数 ()内は修了者	家族込の 町内定住者数	町外 移住者
農業支援員	6	14	8	13(7)	30	1
林業支援員	終了	5	5	3(3)	4	2
観光振興支援員	終了	5	5	2(2)	5	3
特産品開発支援員	終了	2	2	1(1)	2	1
教育交流活動支援員	終了	1	1	0(1)	0	1
起業型協力隊	8	8	0	8(0)	18	0
合計	14	35	21	27(14)	59	8

平成23年度の受入れ開始からの地域おこし協力隊定住状況の集計
※任期終了後の定住割合：66.7%（全国平均48%）

問 定着率が全国平均より上という理由は。

**地域おこし協
力隊の定住・定着
状況について**

答 定着率が高いのは農業支援員で、数字上は、それに支えられている。
問 農業の分野の定着率が高いのは何か特色があるからか。

答 研修農場を含め、他と比べて手厚い支援をしている。また、3年間の間に、就農地を見つけた率が高い等があげられる。ハード面で研修農場ができたのは平成30年で効果はこれから出てくると思われる。それ以前の平成23年から、専属アドバイザー、集落アドバイザーという制度を使って新規就農へ導き、指導をしてきたということもあり、就農後のフォローアップを続けているという点も定住に結びついている要因かと思われる。また、新規就農を積極的に受け入れてくれる地域があるという点も一つの要因かと思われる。

委員会 レポート



百年記念公園にある壊れた水車小屋

百年記念公園の現状と今後の対策及び構想について

問 百年記念公園は、現地のみならず、厚真町全体を公園として捉えるという意味での大きな位置づけだったと思う。そういう意味では今後の町づくりの総合計画の中で、百年記念公園の扱いをどうしていくかが問われていると思うが。

答 今回の地震の被害によつて老朽化していた事もあり、主立ったものはほとんどなくなつてしまつたに等しい。

河川とか一部小さな池も埋もれてしまつた、あるいは導水管の工事で無くなつてしまつたものも多数ある。

百年公園を造つた当初の意義ももちろんあるので、総合計画等の調整もしながらルーラルビレッジも隣接しているので、環境を壊すことのないような仕掛けを整備を図つていきたいと思う。

起業化支援事業制度の内容と活用状況について

問 起業化支援制度は起業して3年という期限があるが、起業の起点をどのように判断しているか。

答 法人に当たつては会社設立の日、個人にあっては開業の日、事業開始の日、または、客観的に事業に着手したと認められる日、と要項に定められている。

問 個人の場合は、事業を始めた日はあいまいではないか。

答 起業化支援事業に当たつては、認定審査会に申請して審査を受ける。そこから事業が始まつていると認識している。

問 地域おこし協力隊委嘱期間中は起業家支援を受けることができなと思うが、起業が早くなれば3年間という支援制度が受けられなくなってしまうか。

答 地域おこし協力隊に

は3年の任期があるが、3年目の4月1日以降は起業化に国の制度を受けることができる。

応急仮設住宅の現状について

問 現在入居されている方からどのような要望が出されているか。

答 要望は、結露、カビ、広さに関して狭い。これから暑い時期に向かうので暑さ対策はないか、という意見を頂いている。



暑さ対策が求められる応急仮設住宅

委員会 レポート

北海道胆振東部地震復興特別委員会

委員会は、8月5日に事務調査（2件）および現地調査（2件）を行い、その結果を第3回定例会に報告しました。

① 厚真川水系特定 緊急砂防事業

②

幌里地区

【主な質疑】

問 今後、砂防工事より上地区の用地買収等については、5年を目途としているとの事であるが、農地を耕作できる可能性はあるのか。

答 砂防指定地がごままでの範囲で指定されるか登録されるかは、今年いつばいでエリアが決まるので時間を要すると聞いている。

③ 厚真町復旧・復興 計画策定に係る進 捗状況について

問 4地区で意向調査が行われたが、主な意見等を聞かせて頂きたい。

答 4地区での住民懇談会での住民の声として
1. 集落として住民が減っていくことに対して寂しきがある。
2. この地区は、安全なのか。
3. 生活会館の再建について
4. 地区の神社の修復、維持について
5. 自治会の合併か単独で行くのか。
6. 道路について安全性の確保、避難路としての機能が大丈夫か。
7. 公共交通めぐぐるくの改善
8. 井戸水の復旧について
9. お墓の再建について
10. ハスカップ狩り観光について

等の声が出ております。

問 まちづくり委員会の件で、地区代表となる住民を委員に追加するとの資料がありましたかどうなっているのか。

答 まちづくり委員としての委嘱は考えていない

が、地区の声を反映させていくことについては、今後検討して委員会の中で集約できるかたちで進めて行く。

問 復旧・復興計画を進めている最中であるが、防災についても地域の環境が大きく変わっているので、並行して進めなければならぬと思うが、検討しているのか。特に避難所等がなくなっている地区もあるが復旧・復興計画より優先して進めなければならぬと思うがいかがか。

答 復旧・復興との計画とどのように連携するのか、防災は防災として災害対策はしっかり行っていく。今年、来年に向けて新しい防災計画の見直しも現在進めている。今後の災害に備えた特に北部地区の避難所等は、無くなったところもあり、また、非常に危険が予想される場所もある。基本は、厚真市街地に避難して頂くということで地区

別説明会を行っている最中である。防災計画の本来の全体計画として見直しは、今回の地震をもつて、北海道の防災計画の見直しも進んでいる。本町の防災計画も北海道の

にしなければいけないという基本的なルールがあるので、本来の計画、本文を直すというところまではもう少し時間がかかる。



幌里地区砂防ダム



伊藤富志夫 議員

要支援者の避難実態の声を聞いたらどうか

町として総括・検証を行って

いる最中

要支援者避難

問 震災から1年が経ち一つ一つの検証が求められる。要支援者（とりわけ身障者の方）の避難について聞く。町内の福祉仮設はどこで利用はどうだったか、その整備状況はどうなっていたか。実際避難された方の直接の声を聞くために実態調査アンケートを行ったかどうか。また今後につ

いて各地域内での避難対応の際、要支援者のリストアップなり実際の対応をしていく問題が大事になるのではないかと考えるか。

町長 町の防災上の福祉優先施設は中央小だが、今回は福祉センターで対応した。福祉職員が24時間体制で可動ベッドも身障者トイレも設置、要支援者296名中43名が利用した。ただ今後は、災害の種類・状況に応じて一か所だけでなく複数の箇所の用意が必要かと考える。検証は行っている最中だが双方向の意見交換の形で細やかな検証作業を進めたい。要支援者の避難行動は地区防災計画の中で厳重な保護と了解の

下、情報を共有していく。

生活復旧支援

被災者に寄り添った支援が必要では

答 個々のケースに応じたサポートをする

問 昨年12月と今年3月あわせて54億円の特別交付金がおりにいるが、現在までどのように使われたか、今後、どう使おうと考えているか。

本整備復旧がメインになり、それから被災者の生

また震災から1年が過ぎ、災害ケースマネジメント（生活復興支援・被災者一人一人に寄り添った支援）のような取り組みが求められていると思うがどうか。



生活復興支援パンフ（鳥取県ホームページより）

業復旧、生活再建また災害に強いまちづくりも配慮した。今後は宅地耐震化、公営住宅整備等がある。 応急期から復興期の時期に応じた適切な対応が大切で、個々の世帯、個人個人のケースに応じた相談をしていくことやチームを編成した上で個別相談会を開催しながらサポートをしていきたい。

一般質問

ここが聞きたい

農業振興

農業機械の破損

答 道と協議を重ねる

町長 当然、国の経営体
育成支援事業等を中心に
様々な支援があり、営農
再開に向けた準備をして
いただきました。発災後
間もなくの申請というこ
ともあつて十分な調査が
できたかどうか当初から
JAも含めて不安視して
いたところでは
被災者向けの経営体
成事業についても追加で
の事業申請はできないと
いう回答をいただいてお

問 昨年発災した胆振東
部地震から一年を過ぎ、
本町全域にわたり大変甚
大な被害を被りました。
特に農業関係は山腹崩
壊により施設、農機具等
に破損が起きました。昨
年発災以降、被災者向け
経営体成事業等に対応
はしているものの、当時
は農業者の皆さんも混乱
しているさなか、春耕期
直前に破損しているのに
気づいた農業者も大勢い
る中、今後町はこの対応
についてどのように進め
て行くか。

橋本 豊 議員

ります。農業者の負担軽
減を図るためにも災害復
旧とその対応について引
き続き北海道と協議を重
ねていく。



損傷を受けた農機具



高田芳和 議員

居住環境

応急仮設住宅退去後の居住先は

答 特定公共賃貸住宅を一般公営住宅に併設して建てる

問 応急仮設住宅退去後の居住先に不安を抱えている被災者が多数いる。

町長 町では災害公営住宅を本郷・新町・上厚真の3地区に合計32戸分建設するとしています。家屋が全壊となりながらも収入が入居基準を超え災害公営住宅に入居できない世帯に対する住居の確保と、大規模損壊等で帰宅が困難な世帯に対する住居の確保を今後どのようにされていくのか。

町長 災害公営住宅とはいえ入居条件が設定されている。一つには全壊が前提と、収入についても通常の公営住宅と同じように入居基準があります。基準を超える方、あるいは家屋が全壊に至らない方、さまざまな方に対して、自力で自宅の再建が難しい方に対しても一般公営住宅の特公賃という種類の公営住宅を一般公営住宅に併設して建てる予定です。

交通安全対策

なんらかの交通規制が必要では

答 要望活動を強めていく

問 道道千歳鶴川線から厚真大橋を渡り厚真市街に入ると、エネオスタンプ前の交差点で40キロ規制と追い越し禁止規制がなく、住宅街の町道表町西通線に繋がってまいります。西通線は何の交通規制がされていません。また、上厚真小学校前の道道鶴川厚真線につきましても、通学路でありながら交通規制がされていません。児童の安全を確保するためにも、何らかの交通規制が必要と思うが。

町長 平成27年4月に町から苫小牧警察署長宛てに町道表町西通線におけるはみ出し通行禁止区間の

の新設等について要望してきたが、道警として十分な対応ができなく現在に至っております。

問 (こんな質問もしました) 家屋等解体費補助事業期間の延長について

答 総合的に判断する。

上厚真小学校前の道道鶴川厚真線についても、交通規制はされていません。今後とも交通安全担当課と教育委員会と情報共有を図りながら、必要に応じて苫小牧警察署に対する要望活動を強めてまいります。



交通規制がない町道表町西通線

一般質問

ここが聞きたい

防災

主要大橋通行止めに伴う避難所は

答 広報の徹底を図る



下司義之 議員

問 上厚真大橋、厚真大橋通行止めに伴い避難所の誘導にも影響があると思うが、短期といえその間に災害が起きた場合、地域防災計画の中では避難所が決められているが、実際はそこへ行くことができないのではないかと思う。

工事期間中、避難所が違ふところに指定されると思うが、その周知は徹底されているか。

町長 上厚真大橋と厚真大橋は、厚真町を縦貫する厚真川の主要な橋梁だと認識している。交通量も多く、一時的に通行止めになる事により不便をかけていると思う。

避難所に関しては、上厚真地区、厚真地区、それぞれ厚真川の右岸、左岸にそれぞれ大きな避難所があるので支障をきたす事は考えづらい。ただ、両大橋が通れない事によって混乱を招かないよう、周知を徹底したいと思う。



工事を知らせる厚真大橋付近の看板

人口

新聞報道 100 人減に対する思いは

答 震災後の増減は拮抗している

問 最近新聞などの報道で、災害後の人口動向が話題になっている。厚真町は昨年8月末から1年間で人口が100人減ったという報道がされている。確かに人口は減っていると思うが、働き盛りの人は逆に厚真に増えているのではないかと思う。最近住む場所を苫小牧市から厚真町へ移したという方もいる。100人という数字に対する思いは。

町長 新聞報道の100人(減)は人口動態を単純に抽出して、胆振3町の比較をしたという数字である。

当町では地震で37人の方が亡くなられているので、63人の方が実質減っているが、震災までの過去5年間は社会増を続けていた。被災直前の7月には、対前年の人口のピークを越えて、人口増加の局面になっていた。令和元年1月から8月までは社会増減が拮抗し、震災後も、子育てやビジ

ネスに挑戦したいという方から高い評価を得ていると思う。

(こんな質問もしました)

問 拡声器付広報車両の増車を。

町長 十分に検討する。

(防災)

問 町道用地内への除草剤散布禁止を。

町長 しつかり注意し、除草剤を撒かないよう協力を求める。

(役場庁舎)

問 庁舎周辺環境整備計画の変更は。

町長 今回の経験をもとに、もう一度十分に検討したい。

議会広報研修会レポート

【講師】 月刊総務編集長 豊田 健一 氏

令和元年8月20日北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会がポールスタ1札幌で開催されました。全道から113町村569名が出席しました。厚真町からも議会広報委員6名と事務局1名が参加しました。開会にあたり、全道町村議会議長会会長渡部氏から挨拶があり「少子高齢化の時代の中で議員の資質が問われる今日、議会と町民の距離を縮め、親しみやすい議会広報誌作りに研鑽していただきたい。」と研修会の開催意義を話された。続けて「読者目線で見切らな広報誌を作るには」というテーマで「月刊総務」編集長豊田健一氏による講演とクリニックスが行われた。

講演では「議会広報誌はあくまでも手段、住民目線、住民視覚化の基礎知識、コミュニケーション要求」を話され、クリニックスでは、今年前半に発行された5町の「議会だより」をもとに良い点、

改善点を丁寧にアドバイスされていました。ポイントには住民目線で読まれ、行動が変わる議会広報誌。厚真町の「議会だより」もこの研修を基に、より町民の皆様によく読まれる、読みたくなる広報作りに努力する決意です。



豊田健一氏の講演に耳を傾ける各町村議会の広報委員

町の財政を診断（平成30年度決算に基づく）

令和元年第3回定例会において、監査委員から健全化判断比率および資金不足比率の監査結果について提出・報告がありました。

【総合意見】

審査に付された下記、健全化判断比率およびその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

○健全化判断比率審査

比率名	平成30年度算定健全化判断比率	基準（参考）		注)
		早期健全化基準	財政再生基準	
実質赤字比率	－%	15%	20%	1 実質赤字比率は、黒字であることから算定されない。 2 連結実質赤字比率は、資金剰余（黒字）であることから算定されない。
連結実質赤字比率	－%	20%	30%	
実質公債費比率	10.2%	25%	35%	
将来負担比率	－%	350%		

【個別意見】（実質公債費比率について）

平成30年度の実質公債費比率は10.2%（前年度比－1.1ポイント）となっており、早期健全化基準の25%を下回っているが、今後ともより一層の財政の健全化に努められるとともに、慎重な財政運営を行ってほしい。

○資金不足比率審査

会計の名称	平成30年度算定資金不足比率	経営健全化基準（参考）	注) 各会計の資金不足比率は、資金剰余（黒字）であることから算定されない。
簡易水道事業特別会計	－%	20%	
公共下水道事業特別会計	－%	20%	

国に物申す

2件の意見書案を採択

第3回定例会において「林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書」および「JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書」が提出され、可決・採択されました。

林業・木材産業の成長産業化に向けた 施策の充実・強化を求める意見書(抜粋)

本道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要がある。

木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

2. 森林整備事業の都道府県・市町村負担分の起債を可能とする地方債の特例措置を継続すること。

参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
文部科学大臣
農林水産大臣
経済産業大臣
国土交通大臣
環境大臣
復興大臣

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

3. 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置を充実・強化すること。

今後、林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

提出者
下司義之
賛成者
橋本豊 木本清登
三國和江 吉岡茂樹

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

提出先
衆議院議長

1. 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・

JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書(抜粋)

JR北海道が発表した、単独では維持することが困難な線区の沿線自治体等は、鉄道を持続的に維持する仕組みの構築に向け、当面の2年間でJR北海道と一体となって、事業計画に基づき、利用促進、経費節減のための各種事業に取り組んでいきます。

しかし、令和3年度以降、地方に年間40億円の支援が必要であることを踏まえると、国の支援を継続するための法改正が必要であり、JR北海道の経営自立に向けては、これまで国がJRに対して支援を行ってきた経道を踏まえ、JR北海道への指導も含め、引き続き、国が中心的な役割を果たす必要があります。

よって、国においては、次の項目について実現されるよう強く要望する。

1. JR北海道が事業運営を適切かつ健全に行うよう、収益の増加とコストの削減の取組状況を把握し、徹底した経営努力

を行うよう指導を継続すること。

2. JR室蘭線及び日高線を含む維持困難線区8線区の維持・存続のため、自動車を持たない住民等の日常生活に支障が出ないようJR北海道に対する支援の根拠となる、日本国有鉄道清算事業団の責務等の処理に関する法律を改正し、JR北海道への支援を継続すること。

提出者
高田芳和
賛成者
森田正樹 伊藤富志夫
大捕孝吉 吉岡茂樹

提出先
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
国土交通大臣

定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

令和元年7月2日（火）（第5回臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	平成30年北海道胆振東部地震による被害者に対する国民健康保険料の減免に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第2号	平成30年北海道胆振東部地震による被害者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第3号	財産の取得	賛成全員
議案第4号	厚真地区簡易水道施設災害復旧工事（機械・電気）請負契約の締結	賛成全員
議案第5号	厚真地区簡易水道施設災害復旧工事（土木・建築）請負契約の締結	賛成全員
議案第6号	平成30年災第376号町道豊丘宇隆線ほか災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第7号	宅地堆積土砂除去工事（2工区）請負契約の締結	賛成全員
議案第8号	宅地堆積土砂除去工事（3工区）請負契約の締結	賛成全員
議案第9号	上厚真小学校プール建設工事請負契約の締結	賛成全員
議案第10号	令和元年度厚真町一般会計補正予算（第3号）	賛成全員
議案第11号	令和元年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	賛成全員
議案第12号	令和元年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護保険事業勘定補正予算（第2号））	賛成全員

令和元年7月19日（金）（第6回臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	令和元年度厚真町一般会計補正予算（第4号）	賛成全員
議案第2号	令和元年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第3号））	賛成全員

令和元年8月1日（木）（第7回臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	平成30年災第541号町道幌里開拓本線ほか災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第2号	平成30年災第640号町道桜丘幌里線ほか災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第3号	平成30年災第642号町道幌里本線ほか災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第4号	平成30年災第643号町道幌里本線災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第5号	平成30年災第644号町道本郷桜丘線ほか災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第6号	平成30年災第679号町道幌里開拓本線ほか災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第7号	令和元年度厚真町一般会計補正予算（第5号）	賛成全員

令和元年9月18日（水）（第3回定例議会・第2号）

議案番号	議 件 名	賛 否
選挙第1号	厚真町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	当 選
同意第1号	厚真町教育委員会委員の任命	同意決定
議案第1号	厚真町表彰条例の一部改正	賛成全員
議案第2号	厚真町一般職の給与に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第3号	厚真町税条例等の一部改正	賛成全員
議案第4号	厚真町こども園の設置及び特定教育・保育の実施に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第5号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第6号	厚真町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第7号	厚真町交流センター条例の一部改正	賛成全員
議案第8号	財産の取得	賛成全員
議案第9号	平成30年災第293号町道鹿沼旧停車場線ほか災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第10号	平成30年災第349号準用河川チケッベ川ほか災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第11号	平成30年災第680号町道幌里開拓2号線ほか災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第12号	上厚真地区情報通信基盤施設整備工事請負契約の締結	賛成全員
議案第13号	令和元年度厚真町一般会計補正予算（第6号）	賛成全員
議案第14号	令和元年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第4号）、介護サービス事業勘定補正予算（第1号））	賛成全員
議案第15号	令和元年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛成全員
議案第16号	令和元年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	賛成全員
意見書案第1号	林業・木材成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	賛成全員
意見書案第2号	JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書	賛成全員

議会のうごき

【7月】

- 2日 第5回臨時会
- 4日 議会議員町内行政視察
- 8日 苫小牧地方総合開発期成会札幌要望、議会広報特別委員会
- 9日 新任議員研修会
- 10日 勇払東部地区国営農業用水再編対策事業促進期成会東京要望（～11日）
- 12日 議会広報特別委員会
- 14日 聖月流日本吟剣詩舞道会厚真支部審査発表会、交通安全指導員会・交通安全協会合同研修旅行情報交流会
- 16日 全国議長会理事会ほか（～18日）
- 17日 議会広報特別委員会
- 18日 厚真の地酒頒布会役員会及び総会
- 19日 第6回臨時会、議会運営委員会
- 23日 総務文教常任委員会
- 24日 産業建設常任委員会
- 25日 現金出納例月検査、中央実行行動（～26日）
- 27日 令和元年度苫小牧救難所・浜厚真救難所夏季合同演習
- 29日 北海道東北議長会中央実行行動（～30日）、財

政援助団体等に関する監査

- 30日 定期監査（備品監査、財務事務監査）

【8月】

- 1日 第7回臨時会、学校監査
- 2日 六団体懇親会
- 5日 北海道胆振東部地震復興特別委員会、決算審査（事前審査）
- 18日 第19回集まりニンピック
- 20日 議会広報研修会
- 24日 ともいきの里夏祭
- 26日 厚真町戦没者追悼式、現金出納例月検査、基金の運用状況審査
- 29日 北海道戦没者追悼式
- 30日 健全化判断比率・資金不足比率関係書類審査

【9月】

- 1日 さっぽろ厚真会総会・懇親会
- 6日 北海道胆振東部地震に伴う献花・黙とう
- 7日 北海道胆振東部地震厚真町追悼式
- 10日 議会運営委員会
- 15日 厚真神社宵宮祭
- 16日 厚真神社本大祭
- 17日 第3回定例会（～18日）
- 18日 議会広報特別委員会、決算審査特別委員会、全員協議会、議員協議会
- 20日 厚真町敬老会、苫小牧市議会公明党議員団視察来町
- 21日 厚真ライオンズクラブ45周年記念式典
- 25日 現金出納例月検査
- 26日 厚真中学校開校30周年記念式典

文化活動団体紹介

カラオケ穂波会

紹介者 茶木 和一 さん

厚真カラオケ穂波会は1988年（昭和63年）日胆地区カラオケ連合会発足に伴い創設、今年で31年になります。会員は10名から14名で推移し、現在は8名で活動しています。

主に、日胆地区カラオケ連合会発表大会、厚真町文化祭芸能発表会、厚真神社秋季例大祭カラオケと音楽の夕べ、年末チャリティ芸能発表会等に参加。

練習は毎月2回、第2、第4金曜日午後1:30～3:30まで、ゆくり音楽療養室で行っています。また、2カ月に1回町内の飲食店で親睦の会を開いております。只今入会者を募集しています。

- ◆設立年 昭和63年
- ◆代表者氏名 茶木 和一
- ◆活動日 第2・第4 金曜日
午後1:30～3:30
- ◆場所 総合ケアセンターゆくり音楽療養室
- ◆問合せ先 茶木
(☎090-2818-3920)



和気あいあいと親睦会の様子